

2025 年度（2026 年 3 月期）中間決算説明会

2025 年 11 月 13 日（木）13：00-14：00 WEB 開催（SMB C 日興証券 新丸の内ビルディング）

出席者：16 名

主な質疑・応答

回答者：

代表取締役社長執行役員 福井 正一

- 1) 上期は減収の中でも経費コントロールによって利益が出たとのこと説明でしたが、物価高の影響は想定通りに価格転嫁できていますか？通期に向けてトップラインを上げる取り組みは進んでいますか？

上期につきましては、全品群のトップラインが計画に対しマイナスとなってしまいましたが、経費コントロールによって利益は確保することができました。ですが、これ以上のコストダウンは難しい状況です。そのため、トップラインを上げることが目下の課題となっております。

価格転嫁につきましては、今春、全商品において平均して約 10%の値上げを実施しておりますが、景気の影響もあり数量の回復はすぐに見込めず、また今後につきましても、原材料、人件費等を含めた諸経費の高騰が続くことを考えますと、さらなる値上げを検討せざるを得ず、来春、一部製品で価格改定を予定しております。

そのような中、今回新商品として「カスピ海ヨーグルト リッチモ」を発売いたしました。リッチモは高単価のプレミアム商品であり、既存品とは異なる価格帯で高付加価値を提供します。このように、今後もトップラインを牽引する商品開発を進めるとともに、価格体系に配慮しながら利益構造の改善にも取り組んでまいります。

- 2) 成長戦略とされた「ヨーグルト事業」と「海外事業」をどの程度の規模まで拡大させるお考えですか？

現在のヨーグルト事業の売上規模は、通販のサプリメントを含め 70 億円程度でございます。当面は 100 億円を目標に、将来的には M & A や海外進出も視野に入れ、10 年後には 150 億～200 億円規模の柱となる事業への拡大を目指します。

海外事業につきましては、まだまだ売上規模が小さい段階で、現在展開している先はインドネシアとタイのみです。台湾については、協力会社への技術提携のみで規模拡大は現時点では考えておりません。今後はインドネシアとタイを中核として、5 年後には全体売上の 5 % (約 35 億円) を占める規模を目指す方針です。

以上